

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	大北キッズベースボールまつり
事業主体 (連絡先)	大北ベースボールサミット実行委員会 (実行委員会委員長 大町岳陽高校野球部 能沢博輝)
事業区分	教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	921,012 円 (うち支援金 : 452,000 円)

事業内容

昨今の野球人口の減少を受け、「野球」の魅力を経験者の未就学児や園児、小学生に発信し、大北地区の多くの子供達に野球を始めてほしいという願いを込めて、このようなイベントを企画・実施した。ころころバッティング&キャッチ、的当てゲーム、ピッチング体験など、11種類の野球に関するコーナーなどを用意した。

時期：令和元年11月24日(日)

場所：大町市運動公園野球場

対象：未就学児(2~3歳)、保育園・幼稚園生、小学生



【ころころバッティング】

事業効果

参加者：小学生以下 370 名、大人を含めた合計約 770 名。

アンケートより 92%の方がとても満足できたイベントだったと解答してくれた。また「野球の楽しさを知った」「スタッフの野球少年たちの気遣いに感動した」「地域に根ざした素晴らしい取り組みだと思います」「来年以降も続けてほしい」など、心温まる言葉を頂くことができた。野球の楽しさや身近にもできる事を伝えられたのではないかと考えている。

実際、イベント時における野球チームへの加入は3名ほどあり、以後、4月に向けて加入者が増えていくものと見込まれる。(昨年実績：H31.4 加入数は20名。うちイベント参加者11名。)

一方で、前日には地元の野球少年に向けて、高校球児が野球の指導をした。小学生は野球の楽しさや憧れ、コツなどを学び、感じる場になった。高校球児も、日頃練習していることを言葉にすることで、再確認ができ、頭の中が整理され、とてもいい経験になった。

【目標・ねらい】

- ①野球の競技人口拡大
- ②野球遊びの体験
- ③地域の活性化
- ④

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・参加者 770 人 (子ども 370 人、大人 400 人) 昨年比約 1.5 倍
- ・アンケート (73 名) より、92%の方がとても満足できたイベントだったと解答。

今後の取り組み

野球に関わったことがない児童が多く、経験しないで自分の専門種目や興味関心事を決めるのではなく、ぜひ野球もその一つの選択肢になるように今後もPRを続けていきたい。今回は第2回の企画となったが、毎年継続していくことが最も大切だと考える。より内容の充実したものを計画していきたい。今年度は女子拡大にも力を入れたが、今後も継続していきたい。

また当日運営をしてくれた野球チームの児童や学生達の振る舞いも高く評価してもらった。大変喜ばしいことである。実行委員会(各チームの指導者)としては、これらは野球を通して培ってきた人間力である事も合わせて、PRしていくと同時に、チーム各々で、より一層成長できるように努めていきたい。イベント後の野球チームの加入数を4月末を目処に調査する。

最後に、地域に長く野球を発展させていくためにも、現在野球をやっている子供たちに向けた取り組みも、来年以降も継続していくことも必要である。また、「野球」を通じて青少年の健全育成を図るとともに、運動に対する興味・関心を広げ、近年低下してきている運動能力の向上を図り、心身健康で、活発な子どもを一人でも多く育てていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある